

火の魂ファミリーの皆いつも本当にありがとう。

先日、延期していた2020年度の入社式を執り行いました。

新入社員も入社して3ヶ月が経ち、働くことに少しずつですが慣れてきた頃だと思えます。

しかし、新卒で入社した社員たちは未来の幹部候補として私は採用していますので、現場で商売の原理原則、そして経営を学び会社の重要な役割を託せるように失敗から学び、日々向上心を持って成長して欲しいと思います。

さて今月の社長からの手紙は、新入社員の皆に入社式を終えて1年目の心得を書いてみたいと思う。入社して1年目は実は全ての土台となる人生で1度しかない大切な1年である。

この1年を、どう過ごしたか？で、人生の差が大きく決まると言っても過言ではない。

何故なら、働く姿勢が試される期間であり、この1年を正しく努力できた人は大きな成長となる1年に必ずなります。正直、仕事の意味も良く分からず、何のためにこの作業をしているかも良くわからないのが1年目であるが、意味がわからなくても与えられた仕事を全力で取り組める姿勢が、20代後半で大きな財産となって返ってきます。

新入社員だけではないが、下記の3つを徹して出来る人は幹部になれる素質があります。

- ① 気持ちの良い「挨拶」で良質な人間関係を作れる自分になる
- ② 決めた時間を守る・期限を守る
- ③ やると決めた事は、周りがやらなくても自分は必ずやり続ける

この3つは誰でも、いつでも、どんな時でも出来ることだが、中々これが出来ない。

私は、この3つを1年目は、やる意味や価値が深く分からずとも真剣に取り組んでほしい。

挨拶はいかなる時も、店舗でも社内でも社外でも良質な人間関係を作るために挨拶を意識的に変えて取り組み、周りがやらなくとも続け無かろうとも、どんな時でも意識的に取り組んでほしい。1年できたら見違えるほど、自分に自信を持てる人間に成長できるから。

時間を守ること、そして期限を守ること、これも仕事の期限も時間も守れない人が本当に多いのが現実、時間を守るといのは、社会では本当に大切なルールで、この事を軽視していると、大きな仕事は絶対に任せられないし、人の上に立つ責任者にはなれません。

社会はルールを守る人とルールを破る人の2種類に別れます。ルールを守る人は破る人を必ず管理する役割になり、当たり前ですがルールを破る人は必ず誰かに管理される人になるのです。組織でやると決めた事を、実行する人は2割で、言われないと実行しないのが8割で、更に実行する人の2割の中で、継続できるのが2割、言われても継続できないのが8割です。

・100人いたら20人が実行できる人、80人が言われないと実行しない人

・実行できる20人の中で、継続できるのが4人、言われても継続できないのが16人

火の魂で大切にしている3つの事を、誰に言われなくても信念を持ってやれる人は数人しかいません。改めて①②③を信じて誰もが続けられないくらい継続して本物に成長していこう。